

◆ 9月16日(水) 道徳授業地区公開講座 ◆

本校教育目標の4本柱の一つ、「自ら実践し、創造する生徒」を実現するため、本年度の最重点目標を、『いのちを守る』～人権意識を高める～に定め、4月から実践しています。具体的には、リーダーシップの意識をもち、学級活動や学校行事・放課後活動に主体的に取り組み、行動する生徒を目指しています。この目標を達成するために、令和元年度からフランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社の竹村様・間宮様・高橋様を始め、関係者の皆様からの数々のご指導、ご助言をいただきながら、4年計画の2年目を迎えています。心から感謝申し上げます。

教育目標実現に向けて、4年計画の根幹に関わるよりどころをご紹介します。本校は、『完訳 7つの習慣』の実現に取り組んでいます。これは、自分の運命を自分で切り開くための奥深いアドバイスをわかりやすく教えることに生涯を捧げ、タイム誌が選ぶ世界でもっとも影響力のあるアメリカ人25人の一人に選ばれたスティーブン・R・コヴィー氏の理念を実現したものです。コヴィー博士は、「リーダーシップとは、単なる役職ではなく選択である。」と述べています。本校は、『Leader in Me (リーダー・イン・ミー)～良い習慣を身に付け、人生を勝ち取ろう～』をスローガンにしています。

今回の道徳授業地区公開講座の講演者、播島 聡様は、燦ホールディングス(株) 代表取締役社長として、大阪に本社を構え、首都圏・関西圏・山陰地方で葬儀会社を経営されています。年間およそ1万6千件ほど扱われているそうです。播島様は、平成20年、子どもや家庭の問題、会社の仕事上の問題を抱えていたころ、ある本屋で「7つの習慣」と出会いました。この本の中で「状況を変えたければ、まず自分たちが変わらなくてはならない」という一文に、大きな衝撃を受けたそうです。今まで問題に向き合うことから逃げてきたと思い知らされ、この時、心の底から自分を変えたいと思い、「7つの習慣」をもっと勉強してみようと決意したそうです。

平成28年 一般社団法人7つの習慣®アカデミー協会主催の認定ファシリテーター資格を取得し、その後「7つの習慣®実践会」を月1回ペースで開催し、現在も継続

して開催しています。16日(水)当日は、早朝に奈良を出発され、本校に到着後、2校時から4校時にかけて、各学年、3回の講演をなさってくださいました。また、5校時目の道徳授業を視察され、6校時の意見交換会でも貴重なご助言をいただきました。新型コロナウイルス対策で、残念ながら、学校公開の形は取れませんでした。講演会には、保護者・地域の皆様、フランクリン・コヴィー・ジャパンの関係者の皆様、総勢21名の方々にお越しいただきました。改めまして御礼申し上げます。

コヴィー博士が提言する「7つの習慣」を生徒向けにわかりやすい言葉で、2年生美術部の生徒が模造紙に作成しましたのでご紹介します。



「7つの習慣」の成り立ち

- ①主体的である
- ②ゴールを考えて始める
- ③一番大切なことを優先する
- ④Win-Winを考える
- ⑤まず相手を理解してから理解される
- ⑥シナジーを創り出す
- ⑦自分を磨く

播島様の講演会の内容を一部抜粋してご紹介いたします。ご自身のご家庭、会社の実体験に基づいたお話は、会場全員の心をとらえ、生徒・保護者・職員の今後の生き方に関する大きな道しるべとなりました。気づき、自らが変化することの大切さをわかりやすく、具体的に話されました。

例えば私の場合ですが、私のミッション・ステートメントの一部を読んでみますね。

私は、こんな自分でありたいな、こんな生き方をしたいなと思っていることを書きました。『誠実に生きること。どんな人にも礼を尽くすこと。つまらない嘘をつかないこと。素直に自分の非を認めて謝る勇気を持つこと。人の悪口、陰口、噂話は言わない、しないこと。妻と何でも率直に話し合う時間を大切にすること。』



これは私個人の
ミッション・ステ
ートメントの一部
です。そしてこれ
は、妻と話し合っ
て作った我が家の
ミッション・ステ
ートメントの一部

です。『家族皆が、お互いを認め合い、許し合い、お互いに支え合い、お互いに励まし合って、皆が笑っている家庭を作る。一人ひとりが認められ、否定されず、プラスの言葉でコミュニケーションを行う居心地の良い家庭を作る。』ミッション・ステートメントというのは、学校や会社にもあるんですよ。例えば、皆さんが通っておられる、多摩永山中学校には「学校経営方針」というのがあります。これ読ませていただきましたが、本当に素晴らしいですね。これは正に、学校のミッション・ステートメントですよ。この中に、「7つの習慣」によって、「皆さんにリーダーシップを身に付けてもらう」ということを理念として掲げておられます。私の会社にも経営理念というのがあって、「こんな会社になりたい」、「こんな貢献を社会に対して果たしていきたい」ということを表現しています。「人生に潤いと豊かさを、より良く生きる喜びを」というのが私たちの会社の経営理念で、こんなことをお客様に感じてもらえるようなサービスを提供していきたい。そのことによって社会に貢献していく会社を目指しています。皆さん ミッション・ステートメントに沿って毎日を過ごしていくと、どうなるでしょう？【質問】そうですね。本当に素敵です！日々、「ゴールを考えてから始める」ということを積み重ねていくことは長い目で見ると皆さんの中学校生活は、間違いなく充実するでしょう。それをずっと続けていくことで、高校生になっても大人になっても、自分の人生をより良く生きること、より良い人生のゴールを迎えることに繋がっていきます。午後からの時間、じっくりと自分に向き合って、何をしたいか。どんな結果を出したいか。どんな生き方がしたいか。是非、考えてみて下さい。とても素晴らしい時間、素晴らしい経験になると思います。

最後になりますが、皆さんに2つ、大切なことをお伝えしておきます。一つは、もし、「自分が目指しているゴールが間違っているな」、「思っているのと違っているよな」と感じた

時は、またやり直せば良いんです。新しくゴールを作れば良い。何回でも立ち上がったら良いし、やり直したら良い。

そして、もう一つは、「道は自分で選ぶ」ということですね。先ほども申し上げたように今は決められなくても、分からなくても良い。でも、目の前のことには精一杯全力で取り組む。分からなければ（変な言い方ですが）「目の前に精一杯全力で取り組むということを選んでほしい」ということですね。皆さんは、無限の可能性を秘めた中学生です。

中学生の頃から「7つの習慣」に触れて学べるということは本当に素晴らしいことだと思いますし、私は皆さんのことが本当に羨ましいです！本当に凄いことだ！何て素敵なことなんだ！と、心から思います！今、世界は、このコロナ禍で、誰もが苦しい思い、大変な思いをしています。皆さんもそうでしょう。先生方、お父さん、お母さん方も本当に毎日大変だと思います。こんな経験、世界中の誰もが未だかつてしたことがありません。そういう意味では、私は、「今、私たちは、このコロナに試されているんだ」と受け止めています。

このコロナに対する受け止め方も人それぞれです。「コロナだから仕方がない」と受け止めるのか。「コロナ禍でも、やれることはある」と受け止めるのか。この違いは大きいです。

コヴィー博士も、本の冒頭でこう仰っています。「変化が大きいほど、困難なチャレンジであるほど、7つの習慣の持つ意味も大きくなる」皆さんのこれからの明るい未来と明るいゴールにエールを送って今日のお話を終わりたいと思います。お話を聴いていただき、ありがとうございました！

お礼の言葉は、1年生、フェルナンデス・ユウイエリチさんが、「ゴールを考えて始める。」2年生、志田 湖春さんが、「自分に責任を持つ。自分で決められるようにする。」3年生、天羽生 紗弥さんが、「今まで考えないでやっていたのでゴールを決める。」と述べていました。また、3年生は、田村君、後明君から質問がありました。

5校時の道徳は、全校でミッション・ステートメント作成に取り組みました。

◆ 10月1日（木）から2期制の後期開始 ◆

通知表は10月9日（金）にお渡しいたしますが、所見は、夏季休業中の三者面談に代えさせていただきます。ご理解のほど、宜しくお願い申し上げます。